



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2013年3月のロータリーレートは 1ドル=92円
 パストガバナーからの手紙 127回 炭谷 亮一

良書探訪 その1 「これでいいのか日本のがん医療」中村 祐輔

がん患者の情報蓄積は、日本人の死因の第1位となっている。がん予防、治療を有効に講じる上で、必要不可欠の基盤となる。そこで「がん登録」の重要性が増してくる。政府は2012年6月によりやく全国的な「がん登録」制度を閣議決定した。余りにも遅い対応であったが、民主党政権で唯一、国民にとって有益な政策だったかも知れない。

アメリカでは約30年前から「がん登録」が行なわれており、すべてのデータはアメリカがん研究所(NIC)に集積されており、更には各がん病院の専門のスタッフが新聞の死亡欄で「がん登録患者」を追って、生存期間の統計をとり、がん治療の効果の検証を行なっている。すべてのデータをアメリカの各がん病院は使用出来、治療効果をあげていると言う事実がある。

著者が本書で熱く語っているのは、日本の基礎医学研究のレベルは高いのに、それが「創薬」や新しい治療法の開発に結びつかない、国益にとっても不幸なことだと、厚生省は以上のことを真に理解せず、なんら打開策を早急にとろうとせず、結果、医療体制、医療産業が危機的に陥っているが、その認識すらなく、ドラスティックに変革しなければある意味、日本再生はないと警鐘を鳴らしている。

又著者はこうも言っている。「欧米諸国に追いつかなくてはならない。医療分野の発展は、必ずや世界的に日本の存在感を高め、日本人が誇りを取り戻すことにつながる。メイドインジャパンの医薬品や医療機器が世界に流通し、多くの苦しんでいる患者さんに、夢と希望を提供し、笑顔を取り戻すことが出来れば、確実に日本は再生し、世界の中で再び輝きを取り戻すことが出来る」と。

著者は「ゲノム研究」に出会い、外科医としてのメスを捨て、研究者としての道を歩み、研究成果を論文だけで終わらせることなく「創薬」を試みるが、治験前の厚生省の不合理的で理不尽な審査はまるで日本で「新薬」をつくらせない為の障壁ではないかと嘆いている。そして次の様に警鐘を鳴らしている。「日本では新薬の不確実性をきちんと認識して、社会全体でリスクを取っていくことが出来ないことが治験の「ジャパン・パッシング」と言う現象を招いている」と。

私の友人が約30年前にスウェーデンのカロリンスカ研究所に留学した際に、「医学の発展の為ならと患者さんはどちら

クラブ例会予定 2012-2013年度	
3/14	呉服 弘晶 (ホテル日航金沢常務取締役総支配人)
3/21	野城会長エレクトより PETS の報告
3/28	笠松 ゆり (ペイフォワード代表)
4/4	清水 満 ((株)明文堂プランナー代表取締役社長)

2012～2013

(役員) 会長：北山吉明 外：野城 勲 副会長：宮永満祐美 幹事：川きみよ 副幹事：上杉輝子

直前会長 会計：西村邦雄

(理事) クラブ管理運営委員長：村田祐一 副：相良光貞 (親睦：金沂秀 プログラム：若狭豊

SAA：上杉輝子 ニコニコ：井口千夏 友好・クラブ細則：魏賢任)

奉仕プロジェクト委員長：竹田敬一郎 副：後出博敏 (職業：土田初子 社会新世代：武藤清秀

国際：宮永満祐美 ラスプロジェクト：岩倉舟伊智 喫煙問題：村田祐一)

会員組織委員長：二木秀樹 副：江守巧 会員増強修練：金沂秀

ロータリー財団委員長：藤間勘菊 副：東海林也令子 (ロータリー財団・米山：藤間勘菊 年次寄付：北山吉明)

広報委員会委員長：吉田昭生 副：江守道子 (広報：谷伊津子 ロータリー情報：木場紀子

会報：石丸幹夫) 常任理事：石丸幹夫

★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241 (事務局) 村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日 (土日祝日) 幹事 川きみよ 090/9766/6666 副幹事 上杉輝子

かと言うと喜んで治験に応募している」と。そして友人は語気を強めて「炭谷、お前なんとがん治療薬の対照群（薬の効果をみる為、薬を与えられない）に入ることすら拒否しない」と。日本人と欧米人とでは人生観、宗教観がまったく違う為なのかも知れない。我々日本人は安心・安全と言う言葉が非常に好きではあるが、未来へ挑戦する進取の気風をも合わせ持ちたいものである。

著書は2011年の野田内閣時代に、医療の国家戦略を一元的に決める「日本版NIH（アメリカ国立衛生研究所）」を目指し、内閣官房に医療イノベーション推進室が設置され、初代室長に東大教授在籍のまま選任されたが、職員は各省の寄せ集めの上に室長には予算も権限もない為、限界を感じ1年足らずで室長を辞任した。著者は、医学界・官界（厚生省、内閣府）の両方を熟知しており、日本人への重大で切実な警鐘を発信している。

発行2013年2月15日

新潮社 1400円

中村 祐輔（なかむら・ゆうすけ）

1952年大阪府生まれ、77年大阪大学医学部卒業。84年ユタ大学ハワード・ヒューズ医学研究所研究員として、黎明期のゲノム研究と出会う。94年東京大学医科学研究所教授、2005年理化学研究所ゲノム医科学研究センター長（併任）。10年独立行政法人国立がん研究センター研究所所長（併任）。11年内閣官房参与・内閣官房医療イノベーション推進室長を併任。同年12月同室長を辞任し、12年3月渡米。現在、シカゴ大学医学部教授・個別化医療センター副センター長を務める。



例会優り

690回

ホテル日航 5F

2013 3.21 (木) 19:00

例会出席率 21/35 60.00%

1月修正出席率 71.43%

点 鐘

ロータリーソング 『 ROTARY 』
四つのテスト

北山吉明会長 挨拶：3月19日の、朝刊に大きな見出しで、南海トラフ巨大地震が発生した場合の、被害に関する予想が内閣府の作業部会から出されました。それによれば、被害額は最悪で220兆円。死者は32万人強、避難者は950万人、2710万件の停電、3440万人の断水、と言うことです。この中には、原発に関係した被害は含まれ



ていないと言うことです。南海トラフに面した地域には、茨城県東海第2原発、静岡県浜岡原発、愛媛県伊方原発があります。これらが、福島第一原発のようになれば、被害は地域に留まらないと思われま

す。大事な、視点が抜け落ちた予想ですが、それでも肝を冷やす数字です。人知の及ぶ範囲を超えたこれらの予想をどう私たちは受け止めればよいのでしょうか。災害に対する意識を常に持ちつつ、可能な限り、自分の家族は自分で守るという備えをするべきだと思います。



1) ゲストのご紹介

(2012-2013 国際親善奨学生) 石田 千香子 様

2) ビジターのご紹介 なし

1) 米山奨学生カウンセラー委嘱状の贈呈

大路 孝之 会員



《食 事》

幹事報告・委員会報告

川きみよ幹事：北山吉明会長のコンサートにはよろしく。1500円のチケットで震災地の品と交換できます。

4月28日（日曜日）に第4回目の東日本震災復興応援チャリティコンサートを、金沢市アートホールで開催します。ロビーでチケットの半券と被災地の物産を無料交換します。

ニコニコBox

¥11,160- 本年度 ¥580,360- 残高 ¥4,657,576-

北山会長：今日は活発な討論をお願いします。井口会員：勘菊先生、昨日はとても素晴らしかったです。おめでとうございます。石田様、本日はようこそ百万石へ。土田会員：藤間勘菊さん、昨日は最高に良かったです。おめでとうございます。そして北山会長のお言葉に勇気づけられました。出席させて頂きました事に感謝いたします。藤間会員：皆様、ありがとうございました。宮永会員：石田様ようこそ。昨日の皆さんのお茶代も含めニコニコします。



(2012-2013 国際親善奨学生) 石田 千香子 様からご挨拶

図①



こんばんは。
2013 年度、国際親善奨学生としてイタリアへ参ります、
石田千香子と申します。
この度は金沢百万石ロータリークラブ様からご推薦いただきま
して、誠にありがとうございました。



図②

おかげさまで、出発は当初の 10 月予定からは半年ずれ込みましたが、4 月の 21 日に日本を出発し、イタリアのフィレンツェへ一年間行くことになりました。
この度は、出発にむけて皆様へのご挨拶の場を設けていただきまして、大変ありがとうございます。この場をお借りいたしまして、お礼申し上げます。
本日は、これまでの私の活動とこれからのイタリアでの活動についてご紹介をさせていただきます。

私は、金沢美術工芸大学の芸術学専攻で、美術史や絵画技法などを学び、2010 年に同大学の大学院を卒業いたしました。
その後は金沢美術工芸大学で、芸術学専攻の専任助手を務めながら、美容師専門学校でデッサンの講師もしておりました。現在は実家の京都に戻りまして、仕事をしながらイタリア語やイタリア絵画の勉強、また古典芸能の伝習を行っております。

図③

特に大学時代は、いま申しました古典芸能である舞楽についての研究を行っておりまして、イタリアで日本の文化を紹介する上でもこの舞楽は良い素材であると思っております。
これから、この舞楽について少しご紹介させていただきます。
雅楽と申しますと、馴染のある方もいらっしゃると思いますが、舞楽とは雅楽の一種になります。
舞楽は雅楽の器楽合奏を伴奏として舞われる「舞」のことを総称し、5 世紀から 10 世紀にかけて、中国や朝鮮半島の諸国からもたらされ、平安時代に大成された日本特有の宮廷楽舞であります。

図④

私は、この舞楽に舞人として 20 年以上携わってまいりました。
京都市左京区、修学院の地に、鷲森神社というお社がございます。
そこでは、毎年 5 月 4 日と 5 日に大きな祭礼があり、舞楽の奉納も行われておりまして、私も従事させていただいております。
この神社において舞楽の奉納が成されるようになりましたのは、およそ 65 年前の昭和 23 年(1948 年)ごろと、約 1100 年の歴史を持つこのお社からすると、以外にも浅い経歴であります。



図⑤

どのように、この神社で舞楽の奉納が成されるようになったかといいますと、鷲森神社のご息女でありました原 笙子さんを中心として、女性を対象とした舞楽団体が発足されたことがはじまりです。

現在の雅楽は、日本最古のオーケストラともいわれておりますが、基本は男性のみの集団で演奏されておりました。明治維新以後は、その代表として宮内庁式部職楽部において伝承されてまいりましたが、その当時からようやく王族貴族のたしなみという限定された枠組みから、民間へと解放されるにいたりまして。

図⑥

また、この世界はかつて女人禁制とされており、民間に開放されたといいますが、65 年以前の当時、この舞楽は余り知られておりませんでした。ましてや女性を中心とした舞楽団体は、女人禁制と謳われていた雅楽の世界においては大変珍しかったといえます。

現在では私を含め、雅楽を伝習する女性も全国的に増加し、男性のみで伝承されていた時代の存在や、世襲制であったことを知る機会は少なくなったと言えます。
わずか半世紀の間に、女性に伝承を許すまで雅楽の世界は大きく変わったと言えますが、その背景にはさきほど申しました、鷲森神社のご息女でありました原 笙子さんのような、女性の存在があったと言えます。

図⑦

宮廷により伝承され、宮内庁により保護されてきた舞楽ではなく、舞楽を伝習する一人の女性として、民間舞楽の伝習の発展を期待し、大学時代にはこのようなテーマで研究を行ってまいりました。

現在も、鷲森神社において毎年五月のお祭りで舞楽奉納を行っておりますので、機会がございましたら足をお運びいただけましたらと思います。

また、このような日本の伝統的な舞を、イタリアで少しでも紹介できればと考えております。

それも含めまして、次にイタリアでの活動計画についてお話いたします。

図⑧

私は、フィレンツェ大学付属の外国人大学へ通うことが決まりまして、そこではイタリアの文化をはじめ、歴史や美術史などを学ぶプログラムがございます。

私は特に、中世後期からルネサンス期にかけてのイタリア絵画を専門的に学ぶことを期待しております。

ここでほんの一部ですが、フィレンツェがいかにルネサンス時代の芸術があふれた街であるか、ご紹介させていただきます。



図⑨

ルネサンス芸術は、14世紀から16世紀にかけて、イタリアをはじめとするヨーロッパ世界に興った革新的な文化運動であります。

古代のローマでは、よりリアルな彫像や絵画が表現されておりましたが、それらは様式化され形骸化するなど長い期間をもって変化していきます。

これらは紀元一世紀ごろの作品ですが、人体表現を追求したリアリズムな作品が生み出されました。

その後キリスト教が普及したことで、教会を中心とした芸術が主流となっていきます。

図⑩

教会を中心とした芸術は、より神秘的なものを中心とした表現が多く、人間や自然はあまり重要視されてきませんでした。

こちらの図像、「神母像」はモザイクで描かれておりますが、人体のフォルムは象徴的に配置され、余分なものがそぎ落とされ、教会の荘厳なイメージに合致する金色の背景につつまれております。

また、彫刻でも同じように、人体の等身は縮められ、人体をよりリアルに表現することよりも、イメージを伝えることに重点が置かれております。

このように、写実的に表現されてきた芸術作品は、時代により様式化していきます。

図⑪

そこで、中世後期にあたる14世紀に、イタリアで古代の伝統の再生、つまりルネサンスが花開くこととなります。神を中心とした世界を描いたものから、よりリアルな人間像や、ドラマチックな場面が多く描かれるようになり、それらは現実に生きる人々に支持されました。

そのルネサンスの始まりといえる地のひとつが、このフィレンツェでした。

そして、このルネサンスの栄光は、今に伝わりフィレンツェの街中で感じ取ることが出来ます。ルネサンス期の作品も数多く鑑賞することができ、美術館や教会に多数残されております。

図⑫

また教会や美術館、博物館を訪れた際には、絵画の保存修復や作品のデジタルアーカイブなどの、美術館や教会が行っている、作品と見る者、他者へのアプローチが、現在どのように行われているのか、可能な限り自分の目で確かめたいと思っております。

更にフィレンツェのロータリークラブでの例会などに出席する機会が与えられましたら、是非とも、先ほど少しご紹介いたしました舞楽の紹介を行いたいと思っております。

舞楽に使用される装束は大変高価なものであり、個人で所持することは難しく、また各楽曲により決められた装束があるのですが、少しでも舞楽のイメージを伝えられるように、簡易的な装束を持参できるよう、現在用意しているところでございます。

図⑬

日本に帰国いたしましたら、美術館やギャラリーにおいて、または教育の場、などで自身の経験を活かすことが出来たらと考えております。また、イタリアで得た経験や、文化や歴史の紹介を行い、日本とイタリアの関係について少しでも貢献できるよう努めたいと思っております。

現在は、不安と期待でいっぱいですが、実りのある一年になるよう頑張りたいので、引き続き応援くださいますよう、お願い申し上げます。

他の power point 画像は事務局に保存してあります。
閲覧したい方は連絡下さい。



2013 - 2014 年度国際ローター」 - 第 2610 地区運営方針

「温故知新 … Review the Old and Acquire The New …」

国際ローター第 2610 地区 2013 - 2014 年度 ガバナー 湯浅 外志男

近年、世界的にロータリアンの数が減少傾向にあります。このような状況に対し、私たちは真剣に取り組まなければなりません。国際ローターは、200 を超す国と地域の参加により構成されています。また、100 年以上の歴史も有しています。この間、数多くの奉仕活動に貢献してきました。現在、改めてローターを見直す時期に来ていると思います。2013 - 2014 年度ロン D. バートン RI 会長が「ローターに積極的に参加しよう」と述べています。私たち、地区のロータリアン一人一人が積極的にローター活動に参加する事が課題となっています。

<地区目標>

1. クラブを元気にしよう
2. 会長全点がリーダーシップを発揮できる環境づくりを整えよう
3. 中核となる価値観を共有し、奉仕を実践しよう
4. IM を開催し、私たちの課題を確認しよう
5. 子どもの未来を育もう
6. ローター財団に積極的に参加しよう
7. ローター米山記念奨学会への認識を高めよう
8. 地区大会にクラブ全員で参加しよう

<地区数値目標>

1. 会員増強 地区会員数 2,700 名以上
2. ローター財団寄付 一人当たり 100 ドル
3. ローター米山記念奨学会寄付 普通寄付一人当たり 6,000 円
特別寄付一人当たり 10,000 円

<地区テーマ> 温故知新～ Review the Old and Acquire The New ～



クラブフォーラム

15 周年記念例会役割分担について . 質疑応答 会長総括

点 鐘

ラオスの農業支援センターへ見学激励

炭谷 亮一

3月20日～3月24日までラオスの農業支援センターへ見学激励に行っていました。香林坊 RC 中川パストガバナー、梅村直前会長、小幡会員が同行されました。支援センターでは農地の改良整備はほぼ終わり、いよいよ農作物の作付けを行なっている状況でした。尚、梅村会員の計らいでラオスの横田順子駐ラオス大使と会見することが出来、ラオスの情勢や我々 2610 地区として 2006 年から始まったボランティア活動について御説明し、御理解いただけたと確信しております。ラオスのボランティア活動に新たな展開が始まる予感がします。



翻訳： 祝辞

国際ロータリー 3710 地区 南光州ロータリークラブ 会長 金熙鳳

尊敬する親愛なる金沢百万石ロータリークラブ北山吉明会長様並びに会友様。

私は皆さんの姉妹クラブの大韓民国,南光州ロータリークラブ 現会長金キムヒボンです。

私が 2008 年度に訪問をした時、今でもその時の記憶が鮮明です。

姉妹クラブ会友様の暖かい心と立山の雪景色,温泉など重ね重ね記憶の中に残っていて、今日また会長になって,訪問をするようになるので感慨新たです。

先ず、私たちの姉妹クラブの百万石 RC の創立 15 周年を心よりお祝い申し上げます。

私たちの南光州 RC と百万石 RC は 1999 年姉妹提携を結んで,14 年という歳月を友人の友情を積み重ねてきました。

特に今年は私たちのクラブで推進する農村医療機支援事業に百万石 RC で全面的な支援をされたおかげさまでその事業が支障なく進行しています。この席を借りて,感謝の言葉を差し上げます。

その他、毎年進行している青少年交換事業と相互訪問などで私たちの南光州 RC では最も近い友人と感じています。

私も膝下に息子が二人いますが、二人の息子は皆交換事業に参加して、幼い年齢で意義ある経験をしたのが成長すれば大きい財産になるだろうと考えます。

その時の記憶が良かったのか小さい息子はその後にも二回東京旅行を行って来たりもしました。

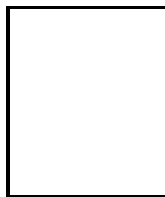
今年は RI 田中作次会長がこちら日本出身で、“奉仕を通じて平和を”というテーマの下 全世界ロータリーアンが平和実践のために一つの心で走っている 1 年でもあります。

光栄にも私たち 3710 地区は南光州ロータリークラブ呉賛教会友が総裁になって,テーマ実践のために熱心にすすんでいます。くりかえし、招待して下さることと私たちを歓待して下さることに感謝申し上げながら,ご挨拶を終えます。 ありがとうございます。

訪問者名 7 名



金 熙 鳳
(Kim hee-bong)
1963. 5. 18
南光州 RC 會長



金 平 蓮令夫人
崔 石 純



鄭 榮 浩
(Jung young-ho)
1968. 7.30.
南光州 RC
總務(幹事)



朴 天 學 (Park,
Chun-hak)
1934. 9. 2
南光州 RC 前會
長



千 命 培
(Chen
myung-bae)
1959. 3.15.
南光州 RC
前會長



金 平 蓮
(Kim pyung-yun)
.1947.1. 8
南光州 RC 前會
長



崔 國 信
(Choi gug-shin)
1971. 5. 27.
南光州 RC
直前會長